

7

疾病等にかかる人権課題

あなたは、どうしますか？（感染症に対する理解を深めよう）

1 学習対象

小学校4～6年生

2 ねらい

病気についての不確かな情報や噂により、相手を傷つけ、差別してしまうおそれがあることに気づかせる。また、病気の正しい知識を得て、自分にできることを考え、今後の自分の言動につなげようとする態度を育てる。

3 準備するもの

- パソコン、プロジェクター等、動画を視聴するための機器
- ワークシート1、2
- 資料

4 解説

ハンセン病について、国が、全ての患者を強制的に療養所へ入所させ、終生にわたり隔離するなど、誤った取組を行っていた歴史を知ることとおして、正確な情報を知る大切さを理解させます。また、不確かな情報から、無意識の言動により、相手を傷つけ、自分が差別する側になることに気づかせ、実際に自分の身近な人が感染したらどうするのか、どのような行動をとるのかについて考えていきます。

また、ハンセン病について学ぶことで、同様に不確かな情報により不安を感じる他の感染症（新型コロナウイルス感染症など）についても、共通の課題に気づき、今後の自分の言動につなげていけるようにします。

なお、このワークは「未知の病気に対する自分の行動や考えを知る」「病気の正しい知識を得る」「適切な行動や自分にできることを考える」ことをねらいとした2時間の内容で計画しています。

5 進め方（展開例） 45分×2

	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
① 導入 15分	<p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（13分）</p> <p>「病気に対する自分の行動や考えを知る」</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自分がとる行動とその理由について考え、ワークシートに書く。 ②考えたことをグループで話し合う。 ③各グループから出た考えを発表し合い、クラス全体で共有する。（数グループ） 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを簡単に説明する。 ・P4【学習の約束】を伝える。 ・4人程度のグループで行う。 ・ワークシート1を配付する。 ・ハンセン病について、不確かな情報を示して考えさせる。 ・自分と親しい人の場合を想像し、行動の理由を考えさせる。 ・未知の病気に対する気持ちを引き出せるよう、お互いに「なぜ、その行動をとるか」と問うように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート1
	<p>◆アクティビティ（30分）</p> <p>「ハンセン病について知ろう」</p> <p>(1)ハンセン病元患者のエピソードを視聴する。【約11分】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を視聴する前に、ハンセン病について簡単に説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画①

展開 30分	<p>①動画を視聴した感想を話し合う。 ②自分が考えていたことと比べる。</p> <p>(2)元患者の家族のエピソードを視聴する。【約5分】</p> <p>①動画を視聴した感想を話し合う。 ②自分が考えていたことと比べる。 ③動画を見て、感じたことをワークシートに書く。</p>	<p>・ハンセン病について新しく知ったこと、考えが変わった部分に注目させる。</p> <p>・(1)と同じ流れで(2)①②を行う。</p> <p>・動画①②を視聴して感じたことを記入させる。</p>	<p>・動画②</p>
<p>・ハンセン病は、感染力が弱く、感染しても発病しにくいこと、薬で治療できることに注目させる。</p>			
② 導入 10分	<p>◆アクティビティ アクティビティ1 (10分) 「不確かな情報に対する行動を考える」</p> <p>①自分がとる行動とその理由について考え、ワークシートに書く。 ②考えたことをグループで話し合う。 ③グループで出た意見を全体共有する。</p>	<p>・ワークシート2を配付する。 ・近所の人の場合、自分はどの行動するのか、前の時間に学習したことを思い出させながら、今の気持ちを書き、話し合わせる。(ワークシート1を参照してもよい)</p>	<p>・ワークシート2</p>
展開 30分	<p>アクティビティ2 (30分) 「感染症に対してできることを考えよう」</p> <p>①朗読動画を視聴し、感想をワークシートに記入し、グループで話し合う。 ②ハンセン病と新型コロナウイルス感染症の共通点を考え、ワークシートに書く。 ③感染症に対して差別の気持ちをもたないようにするために、自分にできることを考えて、ワークシートに書く。</p>	<p>・共通点について考えさせることで、差別してしまう気持ちとどのように向き合っていけばよいのかを考えさせる。</p>	<p>・朗読動画</p>
まとめ 5分	<p>◆まとめ(5分) ・まとめの話を聞く。</p>	<p>・授業をとおして児童から出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。</p>	
<p>・感染症について正確な情報を知ることが大切であり、正しい知識をもっていないことで、無意識に避けようとする行動が、偏見や差別につながる。 ・他の感染症についても同様であり、正しい判断と行動ができるように、一人ひとり考えていくことが大切である。 ・今回の授業をとおして、差別は、取り返しのつかないくらい人生を変えてしまうものであると気づくことが大切である。</p>			

☆「なぜ、差別をしてはいけないのか」「差別をなくすためにはどうすればよいか」など、国立ハンセン病資料館の職員等による講話を聴く機会を設けることで、この課題についてさらに理解を深めることができると考えられる。

<参考資料など>

資料「ハンセン病について」 国立ハンセン病資料館ホームページ <https://www.nhdm.jp/about/disease/>
動画「ハンセン病を知る～元患者と家族の思い～」(約34分) YouTube 法務省チャンネル

①ハンセン病元患者：森和夫さんのエピソード [3:00～14:15] (約11分)

②元患者の家族：林カさんのエピソード [22:12～27:26] (約5分)

朗読動画「ウイルスよりも怖いもの」(第40回全国中学生人権作文コンテスト大会記念賞：約7分)

YouTube 法務省チャンネル

あなたは、どうしますか？

() 年 () 組 () 番 名前 _____

1 昔、次のような病気が、はやりました。

しょうじょう 主な症状

- | | |
|---------------------------------------|---|
| • 手足がしびれる (麻痺 <small>まひ</small> してくる) | • 汗 <small>あせ</small> がでなくなる |
| • 痛い感覚 <small>いた かんかく</small> がなくなる | • 熱 <small>あつ</small> い、冷 <small>つめ</small> たいという感覚 <small>かんかく</small> がなくなる |
| • 視界 <small>しかい</small> がかすむ | • 体がとてもだるくなる |
| • 感染 <small>かんせん</small> する | • 体の一部が変形 <small>へんけい</small> してしまう |



① 自分がその病気にかかりました。あなたは、どのように過すごしますか？
なぜ、そうするのですか？

② あなたの親しい人がその病気にかかりました。あなたは、どうしますか？
なぜ、そうするのですか？

2 映像えいぞうを見て、感じたことや考えたことを書きましょう。

あなたは、どうしますか？

() 年 () 組 () 番 名前 _____

- 1 「近所の人がかんせん病にかかった」という^{うわさ}噂が聞こえてきました。
あなたは、どうしますか？ なぜ、そうするのですか？



- 2 ^{えいぞう}映像を見て、感じたことや考えたことを書きましょう。

- 3 かんせん病と^{しんがた}新型コロナウイルスには、どのような^{きょうつうてん}共通点があると考えますか？

- 4 ^{かんせんしょう}感染症に対して、^{さべつ}差別の気持ちをもたないようにするために、
自分にできることは何でしょうか？

